

第10回(平成29年) 定時社員総会

平成29年5月18日に学士会館にて、施工系会員意見交換会、理事・監事会、第10回定時社員総会が出席59社、委任状提出40社、総計99社で開催されました。

第10回定時社員総会



《野崎正和代表理事 挨拶》

ゼネコンは、過去最高の利益を上げ、技術者の方は給与が上がって喜んでいますが、我々専門業者は労務費の高騰、資機材の高騰で会社経営に苦勞されていると思います。特にトンネルは少ない人数で、便利の悪い所で仕事をしていますので、人を集めるのに大変苦勞していると思います。東北の復興、九州の震災復興と全国で仕事が増えている上にオリンピックまで3年を切っており、工期がなくて休みを返上して作業をするような問題も出てきています。それにもかかわらず、後5年の内に週休2日制、4週8休を実行しなければなりません。技能員不足に対し、協会でも担い手確保に取り組み、委員会で技能員の雇入れ募集のパンフレットを作り、学校他に配布しました。

若者が業界に入ってくるには、トンネルの作業環境を改善する必要があります。今、有識者委員と粉じんの原告団の弁護士と、医師と日建連の人達、合計20数名で委員会を構成し、意見交換を行っております。厚労省の主導の下、国交省も参画していますし、私も出席しております。粉じんの濃度を問題としているのではなく、良い環境作りをする方針です。まずは、切羽の粉じん濃度の実態調査を吹付けのノズルマンの近く、重機稼働中の近くで計測する方向で進めています。実態を把握しそれから改善するということを目指し、送風機、集塵機も今まで以上に優れた物が出てきています。すでに使用している現場もありますが、全ての現場では反映しておりませんので、これからレベルアップして頂きたいと思っております。

トンネルの担い手確保には、坑内環境とトンネル施工方法の改善が重要だと思っております。今まで日本の人達は人力作業が得意でしたが、これからはいかに機械化を駆使し技術開発をする事が重要だと思っております。今年も昨年以上に教育及び調査研究を積極的に行っていきたいと思っております。

お陰様で昨年末12月には、トンネル切羽の鏡吹付けのガイドラインが発出されました。これは我々専門協会の会員が一生懸命、資料、データを集めてくれて出来た結果だと思っております。昔に比べればトンネルの災害は少なくなりましたが、坑内の災害がゼロになるように皆さんと協力していきたいと思っております。

《承認された議案》

- 第1号議案 平成28年度事業報告
- 第2号議案 平成28年度収支決算報告
並びに監査報告
- 第3号議案 役員選任及び顧問委嘱(案) ※1
- 第4号議案 平成29年度事業計画(案)
- 第5号議案 平成29年度収支予算(案)

※1 選任された役員

常務理事	木部建設(株)	木部哲実
顧問	木部建設(株)	木部嘉隆

多数のご来賓の方々及び全国から参集された会員の皆様には、交流を深めて頂きました。



表彰 (敬称略)

1. 感謝状

永年にわたり当協会の副会長を務められ、当協会の円滑な運営に寄与された木部嘉隆氏(木部建設㈱)に会長より感謝状と記念品が授与されました。(代理受領)



2. 表彰状

当協会の推薦により国土交通大臣優秀施工者(建設マスター)、土地・建設産業局長青年優秀施工者(ジュニア建設マスター)及び厚生労働大臣安全優良職長顕彰を受けられた方に会長より表彰状と記念品が授与されました。

受賞者:建設マスター

佐伯圭一氏(川元建設㈱)

〃

中村公仁氏(山崎建設㈱)

ジュニア建設マスター

谷内誠一氏(北新建設㈱)

安全優良職長

精松和昭氏(村田建設㈱)



総会懇親会来賓挨拶要旨

※お役職は平成29年5月18日現在です

国土交通省 大臣官房 技術調査課長 石原 康弘 様



働き方改革に関して、休暇が取れないという状況が問題となっています。発注者として、まず週休2日に取り組み、工期は週休2日や天候を考慮した積りでしたが、実際には休日や小雨では働かなければならないという厳しい状況下で働いて頂いていたようです。反省して対処していかなければなりません。また、今年は生産性革命の前進の年と言われております。トンネル、橋梁工事につきましては、3次元のデータを活用して、生産性、安全性の確保について試行していきたいと思っております。今後は、IoTとかAIを使う画像処理により3次元を仕事のベースにして行っていきます。

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 労働資材対策室長 矢吹 周平 様



担い手確保のために三つの事に力を入れています。一つ目は、設計労務単価をあげること。二つ目は、社会保険加入対策。これらは、足並みを揃えないと技能者のことを考えない会社が得をするという環境が出来上がり、加入してもまた辞めてしまうということがあるので、そのようにならないように進めていく必要があります。三つ目は、建設キャリアアップシステムの準備です。技能者の方にカードを持って頂き、誰がいつどの現場にいたか自動的に蓄積されていく仕組みです。このシステムを利用し、いい職人を抱えている専門工事業者がしっかり評価される仕組みも合せて考えていきます。

一般財団法人 建設業振興基金 理事長 内田 俊一 様



担い手の問題については、確実に成果を上げておられます。建築施工管理技士等の試験がありますが、その中で2級の学科は高校生が在学中に受けられます。高校生の受験者はここ2年間で2.5倍に増えました。工業高校の土木、建築、電気を出て建設業に就職する人も増加しています。ただ、このように成果が上がってきているにも関わらず、採用が出来ないとの声もありますが、それは、採用する会社が増加したせいで、いよいよ担い手を巡って建設業界内においても戦いが始まったのだと思います。それに勝てる企業と勝てない企業が出てくる状況がきたようです。

一般社団法人 日本建設業連合会 安全部長 伊藤 寛治 様



政府が積極的に進めております働き方改革を受けて、日建連では今年度から週休二日の実現に業界を挙げて取り組む決意を表明したところです。実現に向けて発注者の理解、促進と適切な受注活動を行う中で、労働賃金のよりいっそうの改善を図ると共に、適切な工期の設定、作業環境の改善等の課題に取り組む必要があります。一方粉じん障害に関して、私共日建連と協会様とご一緒に10月に現場パトロールを実施しております。こうした活動を継続する事で、トンネル建設工事で働く全ての方々がじん肺症に罹患しないように、施工面、設備面での改善による粉じん低減対策措置の徹底を図って行く所存です。

厚生労働省 労働基準局 安全課 建設安全対策室長 縄田 英樹 様



昨年末12月に肌落ち災害防止のガイドラインを発出しましたが、これに続いて3月には、シールドトンネルに係る安全対策ガイドラインを発出しました。これは5年前に倉敷で発生しました海底シールドトンネルの死亡災害を踏まえて作成したもので、セグメントの形状・品質や、シールド機械の設計管理についてです。会員の中にもシールドトンネルに携わっておられる方もいると思いますので、この機会に是非参考にし、安全の取り組みに役立てていただきたいものです。今年の安全週間のスローガンは、『組織で進める安全管理・皆なで取り組む安全活動・未来につなげよう安全文化』です。この安全週間を機に、改めて労働者一人ひとりの安全意識の向上を図って頂き、安全な職場環境を継続的に形成する取り組みをお願いします。

合同現場安全パトロール

6月7日に兵庫県豊岡市の日高豊岡南道路上石トンネル工事にて平成29年度第1回合同現場安全パトロールが行われました。現場では、安全に対する取り組みにいろいろ工夫されていました。好事例としては、“毎日の体調管理チェック(血圧、体温、アルコール測定)”、“朝礼時輪になってのKY・ワンポイント唱和”等がありました。また、坑口ヤードでの重機、車両の駐車、歯止めの状況は良好でした。これから、工事が本格的に始まりますので、決められたルールを守り元請とのコミュニケーションをとりながら安全に作業を進めてもらいたいものです。



坑口付近



肩もみ体操



工事概要

発注者：国土交通省 近畿地方整備局
元 請：(株)安藤・間
施 工：(株)興和建設
工 期：H.29.2～H.31.2
延 長：1,231m

朝礼前ミーティング
(ネパールの技能実習生も参加)

施工機械現場管理要員研修

7月29～30日に福島県いわき市の国道399号十文字トンネル工事にて平成29年度トンネル施工機械現場管理要員研修が行われました。内容は、トンネル工事の主要機械である油圧ジャンボ、コンクリート吹付機、サイドダンプ式ホイールローダ、ブレーカ(ベスマシン含む)、クレーン付き油圧ショベルについて、管理の基本や怠ってはならない点検整備等について座学及び実機を前にした研修が行われました。受講生は12名でした。



発注者：国土交通省東北地方整備局（磐城国道事務所）
元 請：株式会社 安藤・間 所長 仲野谷 健 様
施 工：木部建設株式会社
工 期：平成28年11月8日～平成31年12月6日(元請トンネル工期)
場 所：福島県いわき市小川町上小川字沼～〃上小川字上戸渡地内
工事概要：トンネル延長2,875m、インバートIL=372m
掘削断面積 CⅡ 54.7㎡
掘削方式 発破掘削(含水爆薬使用)
ズリ出し ベルトコンベア



幹部社員研修会

9月4日～5日に東京都で幹部社員研修会が開催されました。1日目は(一財)建設産業経理研究機構の研究主任 伊藤慎治氏による『建設業会計の基礎知識(演習含む)』、2日目はアサシテ経営労務事務所の中小企業診断士 手島伸夫氏による『人間関係論とチームマネジメント他』の研修が行われました。



「1日目の講義は、スピードを持って建設業経理事務士4～1級をやってもらえてよかった。建設業経理士の資格取得向けの講座や『トンネル工事の原価管理』に特化した研修等も実施してほしい。」
「2日目の講義は、対面でコミュニケーションやコーチングを学べ、とても有意義だった。若手の育成に活用したい。」等の意見をいただきました。

登録トンネル基幹技能者講習

7月6日～9日に富士教育訓練センターにて登録トンネル基幹技能者講習が開催されました。25名の受講者は7月19日に行われた登録基幹技能者育成委員会(外部委員2名を含む)による審査の結果、24名の修了が承認されました。累計修了者は567名になりました。



氏名	所属組織名	修了証番号
佐藤 孝徳	川元建設㈱	第061707-00544号
鈴木 忍	川元建設㈱	第061707-00545号
板橋 優	木部建設㈱	第061707-00546号
安川 和也	木部建設㈱	第061707-00547号
石沢 政徳	笹島建設㈱	第061707-00548号
奥井 大隆	笹島建設㈱	第061707-00549号
笹島 龍馬	笹島建設㈱	第061707-00550号
五十嵐 一哉	成豊建設㈱	第061707-00551号
小野 峰夫	藤友工業㈱	第061707-00552号
松橋 誠也	藤友工業㈱	第061707-00553号
赤泊 崇宏	㈱トーソー	第061707-00554号
松本 憲夫	㈱原工業	第061707-00555号

氏名	所属組織名	修了証番号
椿 則秋	㈱ハリマ工務店	第061707-00556号
福田 修	㈱ハリマ工務店	第061707-00557号
三浦 亨	㈱BLUEB	第061707-00558号
牧野 高大	北新建設㈱	第061707-00559号
後藤 雅明	横山工業㈱	第061707-00560号
酒井 秀明	横山工業㈱	第061707-00561号
緒方 和樹	吉田西豊建設㈱	第061707-00562号
小野 一秀	吉田西豊建設㈱	第061707-00563号
小野 達美	吉田西豊建設㈱	第061707-00564号
森下 貴弘	吉田西豊建設㈱	第061707-00565号
吉沢 成和	吉田西豊建設㈱	第061707-00566号
和田 幸治	ワシオ工業㈱	第061707-00567号

また、6月6日に開催された東京会場での更新講習で21名の方、9月9日に開催された大阪会場での更新講習で13名の方が修了証を更新されました。累計更新講習修了者は334名になりました。

協会からのお知らせ

【今後の予定】

- 2017/10/13(金)～10/14(土) 現場見学会 北海道新幹線後志トンネル(落合)、(北上沢)工事
- 2017/11/09(木)～11/12(日) 平成29年度第2回登録トンネル基幹技能者講習 三田会場
- 2017/12/02(土)～12/07(木) 海外視察研修会 インドネシア共和国
- 2018/01/31(水) 新春セミナー、賀詞交歓会
- 2018/02/10(土) 平成29年度第3回登録トンネル基幹技能者更新講習 福岡会場
- 2018/05/15(火) 平成30年度第11回定時社員総会

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors
日本トンネル専門工事業協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階
TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL : <http://www.tunnel.jp>